

自宅の周りでは、梅の花が咲き始めました。春を
間近に感じるこの頃。全国を飛び回るペアレンツ
キャンプの先生方は、いかがお過ごしでしょうか？

早いもので、支援を卒業してから1か月を過ぎ、
ご支援いただいた息子は、今朝学校のスキー研修に
出かけていきました。飛行機で北海道へ、4泊5日
の旅です。

ちょうど2年前のこの時期にもスキー研修がありましたか。
彼は自室のクローゼットの中でこもっていました。
学校の先生に、スキーウェアのサイズ、靴のサイズをきか
れても、息子と話すことはおろか、部屋から出てくる
姿を見ることすら出来なかった。そんな日々が「確かに
ありました。

親に起こされることもなく、自ら準備して、朝の6時
に出かけていく今朝の息子を見送りながら、2年2ヵ月
の間、支えてくれたことに、改めて感謝の気持ちで
一杯になりました。

今回は、息子は不登校だったことが変わったのかと思え
るくらいに、普通の中学3年生としての生活を送っています。
コロナによる休校期間、オンライン授業期間から始まって
間もなくの登校（3回）、完全不登校で、中学1年生の

1年間ほどは心とクワスタートの顔も見られなかったような状態から現在のよりに生活できているのは、本人の頑張りのおかげだと思っています。家庭教育を親が学び、本人に任せる。本人の発信を待つ。と出来るようになった結果、息子が本来持っている自立の力が蘇ってきた。まさに「親が変われば子も変わる」ということなのかと、今思っています。

とは言っても、物音もせず部屋でじっとしている息子のことが心配でたまらぬ。どうしてもいらぬ声かけをしてしまう私。そのたびに結果的には息子と暴れさせることになり、余計に事態が悪化する。

支援開始から1か月半は、そのようにことと繰り返していった。

そんな失敗をする私に、佐藤先生は、言葉を受けないから、何度も何度もアドバイス。まさに叱咤激励の電話カウンセリングで、その時期を支えてくださいました。暴言や高額な買い物などの要求など、どう対応してもおかしなからず、悩める私に、先生はその都度、冷静で的確、具体的な指示をしてくださりました。

中でも、どうしても息子に問いたださなければならぬ大抵な事態があれれた。

私はもう悔れ切っていて、正直逃げ出したい気持ちでいっぱい。しかし、長い時間を経て先生が伝えてくださった言い回しを善きとめ、何度も何度も口に出して練習し、いざ息子に向き合い、それを口に出して言うことが出来た。息子に伝えるための「なるほど」が、何もかも伝えられた。あの時に私は、親としての小生は自信を持つことが出来たように、小生はステップをひとつ踏み出したようにそんな気がしています。

その後も、ダイレクトアプローチ、復学当日、継続登校の日々、1年以上経てからの手ごとの連続欠席、嬉しい時も苦しい時も、お礼先生に支えていただいていたけれど、あの時の精悍な先生の電話カウンセリングは、2年2ヶ月の支援の中でも、最も心に残るものだったかも知れません。本当にありがとうございました。

支援開始から2ヶ月に及ぶ頃、親を死ぬほど遊んでいた息子が、掃除機をかけている私のところに寄りついてきて、

「お母さん、〇〇学校、まだ戻れるかな？」

と聞いてきた時の驚き。そしてやっぱり嬉しかった。

もし親向けに存在していたとしたら、恐らく「大支援」と称しての過干渉になり、彼がまたまたブルーになる

元の状態に戻してしまいかもしてません。

しかし、不登校に苦む子供のこころの理解に足らぬほど、
父の遊び、話を聞き、時には勉強をとりして、子供を
支えてきた。経験豊富な佐藤先生に相談出来たこと
で、一喜一憂せず、私の息子に合った対応をみることに
出来た。その後、先生が息子と直接話をしてくださった
ことで、息子の登校の意志がより強いものとなり、復学
出来た後も、すぐに崩れることなく、登校を続けていくこ
が出来たと思います。

その息子も、この春からは高校生となります。復学してから
間もなく2年、すっかり頼もしくなってきました。もう親は見
守りだけですね。二度いよいよ10代後半の貴重な時間を
充実させていってほしいと願っています。

私は偶然、ヘアレスキャンプで復学を果したばかり
の先輩お母様に、実際に会って親身に相談に乗って
もらったことで、おぐに支拂を受ける決心をするこが
できました。

息子が学校に行かなくなると、それだけではない、家に
引きこもり誰とも会わない日々を送り、そのこころの様子も
もどかしいのは、私にとってとても辛い経験で
したが、ヘアレスキャンプの先生方に助けられて。

本格的な完全不登校から4ヶ月ほどで息子が復学し、
登校を続けることで年齢相応の発達、成長をして
いくのを目指していることが出来ています。

異なった分だけ、この喜びは一生忘れることがない
と思います。

不登校の支援は年々難しくなっている面があり
思いますが、ペアレンツキャンプの先生方から出来た支援
を必要としているご家庭、子供達はたくさんいると
思います。

一人でも多くの子供さん、御家庭が前向きに進め
るよう、ここからの一層のご活躍をいっしょにお祈り
申し上げます。

大変お忙しい毎日には存じますが、どうかお身体ご
自愛ください。

最後に、本当に本当に、ありがとうございました。

2023年 2月 24日